

38 オバシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris tenuirostris

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア北東部の北極圏に近い高山ツンドラで繁殖し、繁殖後は西アジアから南アジア、オーストラリアなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来する。干潟、河口、海岸の砂浜や岩礁などに生息する。ゴカイ類や甲殻類、貝類などを採食する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、南あわじ市、淡路市、たつの市、★稲美町、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息 環 境・	局 地的 繁 殖	希 少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクへ変更。

県内では主に4-5月と8-10月に生息する。かつては県南部で数十羽の群れが普通に見られたが、近年は干潟の埋め立てなどにより生息環境が消滅し、数羽から10羽程度のの小群が記録されるのみである。また、県北部では少なく、最近では渡来地も極めて限られることから、Bランクに変更した。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。